

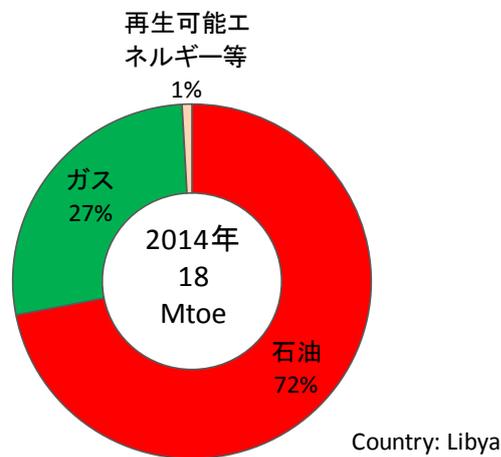
5-3 リビア

1. サマリー

1. エネルギー事情

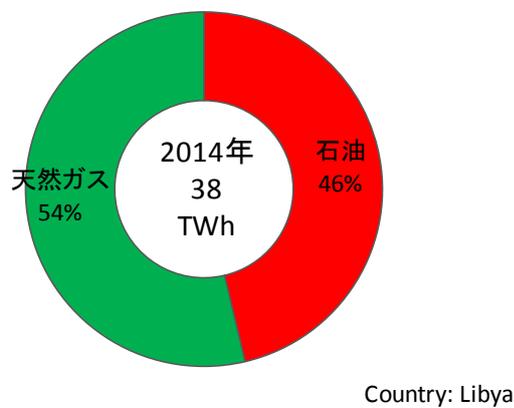
- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 18 百万 toe (日本の 0.04 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2014年) : 2.86toe (日本の 0.82 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 203%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 47.9 百万 CO₂ton (日本の 4.0%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 7.65 CO₂ton (日本の 81.8%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : 原油 100 年以上、天然ガス 100 年以上

一次エネルギー供給構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 石油・天然ガス部門については、探鉱・開発の実務を行っている NOC(National Oil Company)に権限が集約されている。また、電力部門については電力公社(GECOL:Gneneral Electricity Company of Libya)が実質的に権限を持つ形となっている。

(2) 基本政策

- 天然資源を積極的に開発するため、近年リビアは上流資産(探鉱・開発鉱区)の国際入札を実施し、外資導入を促進してきた。また、輸出品としてより多くの石油を確保するため、国内のエネルギー需要については天然ガスの普及により、その利用を拡大し、石油を温存する方針としていた。

(3) 最近の動向

- 首都 Tripoli を実行支配している武装勢力は 2016 年 4 月 5 日、国連の後押しを受けて 3 月末に Tripoli 入りした Fayed Sarraj 暫定首相が率いる統治評議会 (PA、Presidential Council) 及び国民合意政府 (GNA、Government of National Accord) に権限を委譲する意志を表明した。リビアでは 2014 年 6 月に武装組織連合が Tripoli を掌握して以来、東西に分かれて新旧両移行国会が併存する形となり、国際社会から承認を受けた新移行国会 (HoR、House of Representatives) はリビア東部への退避を余儀なくされた。
- Sarraj 暫定首相の率いる統治評議会は 2016 年 5 月 17 日、国民合意政府に対して Tripoli において業務を開始するよう命令した。統治評議会メンバーは暫定首相のほか、5 人の副首相、3 人の特命担当大臣の合計 9 人で構成。
- 国民合意政府の部隊は 2016 年 6 月 2 日、Sirte の IS 拠点に攻撃を開始した。8 月 1 日からは米軍による空爆が開始され、IS はイラク、シリア以外で最も重要な拠点を失いつつある。同部隊は 8 月 17 日までに Sirte の中心部をほぼ奪還した。
- リビア東部の新移行国会は 2016 年 8 月 22 日、国民合意政府の承認に関する投票を行ったが、否決された。新移行国会は国民合意政府による一方的な既成事実の積み重ねに反発を強めており、国民合意政府承認の可能性は遠のいている。
- リビア国家軍 (LNA) がリビア東部の 3 つの輸出施設の支配権を奪取した後、リビアの輸出は急回復した。Haftar により率いられた LNA は 9 月 11 日に一連の攻撃を開始し、石油施設保護隊 (PFG) から 3 つのターミナル、すなわち Es Sider (45 万 b/d)、Zuetina と Las Lanuf (両方とも 25 万 b/d 程度) の支配権を奪取した。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 2015 年度におけるわが国のリビアからの原油輸入の実績はなかった。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Libya

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		18 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		2.86 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.47 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		203 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		47.9 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		7.65 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	0 %
	石油	72 %
	天然ガス	72 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	1 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-103 %
(9) 石油の輸入依存度		-102 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸入先	第1位	-
	第2位	-
	第3位	-

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA